

山口県内初！ 受付からお帰りまで 30 分の脳の健診「スマート脳ドック」を 医療施設で提供開始

～ 山口市阿知須同仁病院にて提供を開始 ～

病院やクリニックの DX 推進をサポートするスマートスキャン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：濱野斗百礼、以下、スマートスキャン）は、医療施設における MRI 未稼働時間の活用を進めるべく、MRI シェアリングエコノミーモデルを構築し、2020 年 7 月から全国の医療施設に「スマート脳ドック」導入の案内を行っています。

この度、山口県内で初めて、医療施設での「スマート脳ドック」の提供を医療法人社団向陽会 阿知須同仁病院にて開始いたしましたのでお知らせいたします。

スマートスキャンは、出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：木藤俊一、以下「出光興産」）が進める「スマートよろずや」構想（*1）のひとつの取り組みとして、2022 年 4 月 23 日（土）から 5 月 22 日（日）まで山陽小野田市の「高千帆サービスステーション」で MRI 搭載車を用いた「スマート脳ドック」を提供いたしました。期間中、山陽小野田市をはじめ隣接する地域在住の方が約 550 人受診されました。アンケートでは、「脳ドックには関心があったもののなかなか受診する機会がなかった。手続きが簡単で助かった」「待ち時間もなく、健診時間も短く良かった」「知っている脳ドックよりもかなり安かったのが魅力だった」などの感想があり、関心の高さがうかがえました。

スマートスキャンは、県内における脳ドックのニーズと現状を踏まえ、阿知須同仁病院での「スマート脳ドック」導入を皮切りに、山口県内での MRI シェアリングエコノミーモデルの拡大をすすめるとともに、47 都道府県での導入を目指します。

誰でも気軽に「脳ドック」を受診できる環境整備を進め、高度医療機器を使用した健診をより身近にしていきます。



山口県でも受診が可能になりました
県内初導入 阿知須同仁病院



*1:「スマートよろずや」構想について

出光興産は、日本が直面している課題の一つである「高齢化社会」を見据えた次世代モビリティ&コミュニティに関するサービス・ソリューションの提供に向けた取り組みの一つとして、サービスステーションネットワークの「スマートよろずや」化を進めています。同社系列の全国約6,000カ所超のサービスステーションは、地域に根付いたサービスを展開する特約販売店、各種サービス展開に知見を持つ協力会社、地方自治体との協働などを通じ、これまで蓄積されたデータをもとに、サービスステーションを「地域固有の課題に対して様々なサービスを必要な時、必要な場所に機動的に提供できる」拠点とすることで、暮らしと移動を支え、地域住民の生活を豊かにする新しい時代の「よろずや」に進化・変革することを目指しています。

■医療法人社団向陽会 阿知須同仁病院 理事長 西田一也氏のコメント

阿知須同仁病院は、開院以来『一視同仁』の理念のもと、どなたにも公平な医療を提供していけるよう近隣医療機関との連携を密にし、地域住民の皆様と共に歩んでまいりました。

そして開院60周年を迎えた本年、新たな挑戦としてスマートスキャン株式会社と提携し、スマート脳ドックを山口県内では初めて導入する運びとなりました。特に注目したいのは、MRI検査により認知症や脳梗塞のリスク因子とされる大脳白質病変が見つかる可能性が高まること。また、スマートフォンを活用した健診スタイルは現役世代の健康チェックや新型コロナを懸念して病院での滞在時間を最短にしたい方に大きなメリットとなります。

私共は、アクセスよく幅広く利用していただけるよう、阿知須同仁病院をアピールしていきたいと考えております。

【施設概要】

- ・医療施設名：医療法人社団向陽会 阿知須同仁病院
- ・住所：山口県山口市阿知須 4241-4

<https://smartdock.jp/clinic/ajisudohjin>

■シェアリングエコノミーモデルについて

日本は、人口当たりのMRIの保有台数は世界一です(*2)。その利用実績には、地域差や施設差、医師数が関係しており、採算面や臨床面でもその活用については検討が必要とされています。

スマートスキャンが提供するMRIシェアリングエコノミーモデルは、医療施設が保有するMRIの未稼働時間を活用し「スマート脳ドック」を提供する仕組みです。医療施設にとっては予約獲得や撮像画像データの読影などに手間をかけることなく脳ドックを実施でき、MRIの稼働率と採算性を上げることができます。現在、「スマート脳ドック」の仕組みを活用したMRIシェアリングエコノミーサービスについて、2020年7月のサービス開始からこれまでに23都道府県の80医療施設が導入しています。*2: OECD health care activities 2019 より

■「受付からお帰りまで 30 分」の「スマート脳ドック」について

「スマート脳ドック」は、脳動脈瘤や脳梗塞、脳腫瘍などの自覚症状のない脳の異常を早期発見できる頭部 MRI および頭部・頸部 MRA の検査です。WEB での予約と問診票の事前登録、受診結果をパソコンやスマートフォンで確認できるため、クリニック滞在時間を短縮し受付からお帰りまで 30 分。撮像されたデータは、放射線科診断専門医と脳神経外科専門医によるダブルチェックを行っています。

万が一異常が確認された際も、結果に応じ専門の医療機関をご紹介します。スピーディーな検査と継続しやすい価格で、これまでにのべ約 7.8 万件の検査を実施しています（2018 年 1 月～2022 年 5 月実績）。

・「スマート脳ドック」サイト <https://smartdock.jp/>

■スマートスキャン株式会社について

「病気になるない世界」の実現に向け、誰もが気軽に受診できる画像診断の環境づくりをすすめています。「スマート脳ドック」サービスをはじめとする事業を通じ、多くの方が健康に暮らせる時間の創出に貢献していきます。

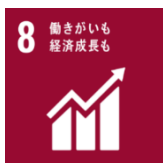
【スマートスキャン株式会社概要】

- ・社名：スマートスキャン株式会社
- ・設立：2017 年 2 月
- ・所在地：東京都中央区日本橋人形町 2-14-6 セルバ人形町 2 階
- ・代表取締役：濱野斗百礼
- ・事業概要：医療プラットフォームサービス「スマート脳ドック」運営、MRI シェアリングエコノミーサービス参加医療施設の「スマート脳ドック」導入と運営サポート事業、クリニックプロデュース事業、パーソナルヘルスケアレコード（PHR）の収集・解析による新規事業
- ・URL：<https://smartscan.co.jp/>

スマートスキャンは SDGs を推進しています。



世界を作る」を企業理念に、「スマート脳ドック」サービスをはじめとする事業を展開。これにより、疾患の早期発見と治療を可能にし、人々の健康に対する意識向上と予防医療に寄与していく。



企業の持続的な成長と利益の実現のために、従業員の生産性や帰属意識向上のために健康を第一に考え、働きがいと企業の成長に寄与する。また、すべての人が受けやすい健診環境を整える事業を展開し、社会全体の活性化を目指す。

■本件に関するお問い合わせ先

スマートスキャン株式会社 広報担当
e-mail：press@smartscan.co.jp